

第 1 3 回 泉 地 域 審 議 会 発 言 要 旨

委 員	事 務 局
泉町における学校統廃合等について	
	<p>地域審議会付議依頼書に基づき、教育委員会から説明を行なう。</p> <p>はじめに、吉田教育次長が八代市の教育事情について概要を説明する。</p> <p>続いて、学校教育課長から泉町における小学校の児童数の今後の推移と具体的に学校ごとの事情と統廃合について、保護者や地域住民との意見交換の内容を踏まえて、教育委員会としての方針について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泉第六小学校については、本年度末で廃校を予定。 ・ 泉第七小学校については、本年度末で廃校を予定。 ・ 泉第三小学校については、第二小学校との統合を検討するが、来年度以降、泉町小中一貫教育構想の中で総合的に検討していく。
<p>大事な問題なのに、審議会への付議が遅いと思う。</p> <p>7小の問題は通学校区全体への説明はされたのか？</p>	<p>方向性について、もっと早い時期にお話しするべきであったと反省しています。今後早い段階での取り組みを進めていきます。</p> <p>地元説明については、学校所在の地区と保護者に対して実施しています。</p>
<p>10年ほど前になるとと思いますが、PTAの役員当時小学校の統合と小中一貫教育の話は保護者の間で話題となりましたが、当時の泉村としての具体的な動きに繋がらず、立ち消えとなりました。子どもたちの教育環境を考えるに必要だと思いますので、早い段階での取り組みを</p>	<p>委員会としても方針に基づいて進めていきますが、施設整備も含めて検討する必要がある、地域の意見を取り入れながら早い時期での取り組みを目指します。</p>

委員	事務局
お願いします。	
三小に通学した者ですが、当時は100人を越えた児童数でした。現在の状況は寂しい限りです。	
このお話を聞いて、遅かったと思いました。小中一貫教育について、一小、二小、三小については問題ないと考えますが、八小について、通学の問題もあり、難しく単独校として方策を探る必要があると思います。里親制度等の導入で児童数を増やす等の手立てはないでしょうか。	色々なケースを考え検討していきます。
この問題については、特に小規模校の場合に学校は児童や保護者だけで成り立ってはいません。地域の人たちとの協議も大切にしていきたい。	確かに、学校は地域の人たちの拠りどころ、シンボリックなものでもあります。地域の思いと児童生徒に最善の教育環境を提供することは一部で相反するものがあり、難しいですがこれからも色々な議論を進めていきます。 坂本町の八童小学校の統合に関して、今、児童たちや保護者の方々から友達が多くて楽しいとか学校に活気が出てきたなどの意見が多く聞かれるように成りました。
小中一貫教育では、一、二、三小の児童が泉中学校の空き教室を利用することになると思いますが、構想段階での青写真を早く示しているような意見を求めてほしい。	
七小を開校しないとした場合、即廃校ということになりますか。	学校としては廃校ということになりますが、校舎の取扱については、地域での有効活用等を考えていますので、現在、耐震診断を実施し、今後の方針を検討する予定です。
七小の校区には葉木、久連子地区も入っており校区全体への説明が必要と思いますが。	委員会として開催について検討していきます。

委員	事務局
<p>統廃合に直接関係ないが、就学時間内の災害時に緊急に児童生徒の下校を判断しなければならないときに、委員会へ伺いをたてていると時期を逸することが心配されるので、学校長や支所長等の判断で下校等の指示が出せないか。</p>	<p>教育委員会において、災害時の緊急対応連絡網を組織して委員会と各学校の連絡体制はもとより、泉支所の現地対策本部と連携を取りながら災害対応を実施していく組織を立ち上げており、これからも、委員会、学校、支所のより強固な連携を図り、適切な対応に努めて行きたいと考えます。</p>
<p>一、二、三小と泉中学校が一貫校として発足した場合に八小が通学の関係で統合が難しいと思われるが、1～4年生の間を八小で勉強し、5・6年生の時点で中学校の寮に入って一貫教育を受けるということは考えられないか。</p>	<p>何が児童にとって最善の方策かを十分に検討して方向性を確立して行きます。</p>
<p>地元であり、児童の母親の立場から、小学生に寮生活を強いるのには反対です。 八小独自の存続を優先的に考えてほしい。</p>	
<p>小中一貫教育の実例はありますか。</p>	<p>市内ではありませんが、県内には実例があります。</p>
<p>一、二、三小が小中一貫教育を実践していく場合に八小との教育格差が生じないような対策が必要と思います。</p>	<p>一貫教育が実施されれば、中学校と八小の連携は大変重要なものになりますので、教育格差が生じないように委員会の中で教育内容を十分に検討していきます。 これからも支所との連携をとりながら教育環境の整備に努めてまいりますので、よろしくお願ひします。 ※泉支所としても、情報収集に努めながら委員の皆様や関係住民への情報提供に努めていきます。</p>
<p>泉町における投票区統合計画について</p>	
	<p>総務課長から資料に基づき、現在の投票所の施設実態と高齢者等へ</p>

委員	事務局
	<p>の負担の具合、高齢化の進行による投票管理者等の人選の窮状などの理由及び期日前投票の利用増加等の投票に係る諸事情を考慮した結果としての、再編に対する基本的な考えを説明し、意見を求める。</p>
<p>確かに現在の投票所の多くは、階段や室内に段差があったりとお年寄りが選挙に行くには施設として不具合が多いようなので、みんなが投票しやすい、利便性の高い施設への再編は必要と思います。</p>	
<p>お年寄りにとって、歩いていけるとところに投票所があることは便利でいいことと思います。再編を検討される場合にそういった住民の声にも耳を傾けてほしいと考えます。</p>	<p>本日の審議会としての意見は、10月7日に開催する泉町区長会の中で再編案を説明する際に紹介させていただきます。</p> <p>今後、意見集約を図りながら八代市選挙管理委員会事務局とも十分に協議して来年夏の参議院議員選挙を目標に再編を具体化していきたいと思います。</p>
<p>その他：今後の審議会の進め方について</p>	
	<p>第三期の泉地域審議会では、現在、泉地域が抱える課題や問題点等を抽出して具体的な対応策の検討といった協議を進めて市長への要望、提言という形に取りまとめていく予定でいます。</p> <p>市の予算編成の時期を考えて、来年度予算への反映は無理なので、平成23年度予算への対応を目標に来年8月を取りまとめの期限としてこれからの審議会の中で十分に協議を進めて行きたいと考えておりますので、委員の皆様で必要とされる資料のご要望があれば申し出てもらえれば、事務局で準備し提供していきます。</p> <p>今年度中に2回、来年度取りまとめまでは合わせて5回程度の開催が可能ですので、皆様のご協力をお願いします。</p>

委 員	事 務 局
会長：他に質問、意見がないようですので、これをもちまして第13回泉地域審議会を終了いたします。	お疲れ様でした。